

臨床研修センターだより



Vol.41 2017.7.31

●救急部研修

4月のオリエンテーション終了後、救急部へ配属された5人の先生方。4ヶ月の救急部ローテもようやく終わりを迎えました。5人でローテートする場合、「日勤→日勤→当直→当直明け→休み」というシフトとなります。また、当直は13時からスタートというハードな状況でしたが、トップレベルの救急医療現場を直に経験し、たくさんの症例や患者さんと向き合っていました。そんな先生方に救急部研修についてコメントをいただきました。

救急部での研修では、緊急性の高い疾患の除外をしていくという独特な考え方と、診察や検査の進め方などの時間の使い方に最初はとも苦労しました。しかし、指導医の先生方の御指導もあり、次第に慣れていき、多くの患者さんを診る事が出来ました。今後もこの経験を大いに活かして研修を頑張りたいと思います。

(吉田)

初期研修が始まって最初の診療で、右も左も分からない中でのスタートでしたが、初期診療とは何かをたくさんの経験と共に学ぶことができました。今後の診療科、救急当直でより深めていこうと思っております。

(戸部)

救急科ローテの長い4ヶ月が終わってみると、意外にも短かったように思います。指導医の先生方の熱心なご指導により少しは成長する事ができたかな、と思います。今後ともよろしくお願いします。

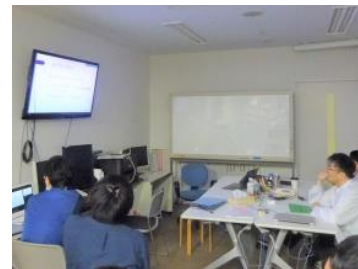
(鷲見)

4ヶ月間の救急ローテーションもついに終わってしまいました。4月当初は全然うまくいかなかった採血や縫合も、最近はある程度自信を持って行えるまでに成長したと思います。救急科で学んだことを、次の科でも活かして頑張ります。

(長尾)

救急部での研修が終わりました。右も左も分からないうちに、いきなり始まった救急部での研修ですが、上級医の先生方はもちろん、看護師さん達にも親切に指導していただき、実りのある研修となりました。この4ヶ月間で学んだ事を今後の研修に生かしていきたいと思っております。

(唐渡)



●学会発表を行いました。

7月1日 第48回日本口腔外科学会近畿支部学術集会において、歯科初期研修医2年次の泉先生、向仲先生が学会発表を行いました。2人の先生方に感想のコメントをいただきました。

◆下顎リンパ節の腫大が診断の契機となったサルコイドーシスの1例
今回の発表を通じて様々なことを経験し、ほんの少しではありますが、成長できたと思います。発表させていただいた症例も普段の診療ではなかなか診ることが出来ない症例だったので、本当に貴重な経験をさせていただきました。指導して下さった先生をはじめ、諸先生方に対しては感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。(泉)

◆唾液腺内視鏡を用いて耳下腺唾石摘出術を施行した1例
学会発表は初めてでしたが、上級医の先生方に教えて頂きながら、なんとか発表することができました。色々な論文を読み、様々な臨床例を検討し、当たり前ですが今まで出来ていなかったことを痛感するとともに大切さを学びました。ありがとうございました。(向仲)

●レジナビフェア2017 in 大阪 参加報告

- ◆日時：7月2日（日）10：00～17：00
- ◆場所：インテックス大阪（大阪市住之江区南港）
- ◆当院ブース訪問医学生数
336名（参考：H28年 297名 H27年 311名 H26年 274名）
- ◆当院参加者
臨床研修管理委員長・臨床研修センター長 西岡先生（総合内科）
臨床研修管理委員 周尾課長（事務局総務課）
臨床研修センター 金森先生（総合内科） 井上先生（救急部）
吉崎先生（総合内科） 進藤先生（総合内科）
初期研修医2年次 舂本先生、森先生
初期研修医1年次 相原先生、乾先生、上田先生、枝光先生、
嶋田先生、西浦先生、平井（聡）先生、
平井（達）先生、前田先生、馬淵先生
事務局 塩貝、北上、土居、長谷川



レジナビに参加していた学生さんはみんな将来について真剣に考えている様子でした。たくさんの学生さんに是非病院見学に来て頂きたいですね。（嶋田）

多くの学生さんに来ていただき、病院について知ってもらえたかと思います。次回以降も引き続き頑張ります。（上田）

熱意にあふれたたくさんの学生さんたちと触れ合うことができ、改めて自分自身も気が引き締まりました。（平井（聡））

将来こんな研修をしたい！と目を輝かせる学生さんたちにたくさん会えました。ぜひ見学に来てください！（舂本）



学生さんに研修のビジョンについて問うと、志望科は異なってもいい医者になりたいという考えを持っている子が多く、そんな学生たちに当院を知ってもらえて良かったです。（森）

研修医の先生方のおかげで過去最高人数を記録しました。学生さんにプレゼンの出来を聞くと全員85点以上で大満足だったようです。お疲れ様でした！（進藤）

想像以上の学生が来場し、声を出し続けるのがこんなにも大変だと再認識しました。声を嚙らした分、学生見学が増えれば幸いです。（前田）

イベント自体の大きさに圧倒されました。研修の受け手である研修医の先生方の話だけでなく、提供する我々指導医の思いも伝えていく必要があるのだと思いました。（金森）

過去最多人数 336 人の学生がブースを訪問してくれました！

